

# さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.969  
2022.9.4

発行

日本共産党さいたま市議会議員団  
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165  
http://www.jcp-saitama.jp/

とりうみ敏行	神田よしゆき
松村としお	とばめぐみ
久保みき	たけこし連
金子あきよ	

## 市立さくら草特別支援学校を視察

# よりよい教育環境を すべての子どもたちに

8月25日、金子あきよ、とばめぐみの両市議は、さいたま市立さくら草特別支援学校（緑区三室）の視察を行いました。

2012（平成24）年に、肢体不自由と知的障害を合わせ有する重度重複の子どもたちが、県立特別支援学校に長時間かけて通学する負担を軽減するため、開設されたのがさくら草特別支援学校です。小・中・高等部全体で16学級、在籍児童生徒は39名（訪問籍4名を含む）です。1クラスの在籍児童生徒数は3名まで、担当教員は各学級2名を基本としています。医療的ケアを必要とする児童生徒を受け入れるために看護師が5名配置されており、日常の観察や実際のケアのための環境が整備されています。採暖室のある室内プールや、豊富な教具・遊具を備えた自立活動室なども設置され、教育に生かされている様子がうかがえました。

一方で、ひまわり特別支援学校（西区）とあわせて、市立の肢体不自由特別支援学校



室内プールがあり、用具も充実している



視察した（左から）金子市議、とば市議

で受け入れる小学部新1学年は7名、全体で78名です。就学先については「入学前の教育相談で調整ができています」とのことです

# 9月議会で質問にたちます

9月7日から行われる9月議会で代表質問に立つ、松村としお、たけこし連の両市議の質問予定項目をご紹介します。質問日時が決まり次第、党市議団のホームページでお知らせしますので、インターネット中継などをご活用ください。



松村としお市議



たけこし連市議

- 1 子どもの権利を大切にしたい学校にするために
- 2 子育て支援の充実について
- 3 さいたま市の農業支援について
- 4 国葬について

- 1 旧統一教会について
- 2 新型コロナウイルス対策について
- 3 物価高騰対策について

## 3件の意見書(案)を提出

党市議団として、3件の意見書(案)を提出しました。全会派一致となれば国に送致されます。議会運営委員会に諮られます。

- 障害者のグループホームを充実させることを求める意見書(案)
- 保育所等における指導監査を引き続き実地で行うよう求める意見書(案)
- 国の責任で学校給食費の無償化を行うよう求める意見書(案)

たが、学年によっては入学希望者が多く、結果として県立特別支援学校に市内から多くの児童生徒が通っている実態があります。

金子市議は、「県立特別支援学校が不足し

ているなか、さくら草特別支援学校の役割は重要。より多くの子どもがこうした環境で学べるよう、市は県と連携・協力して学校の整備に力をつくすべき」と話しました。



# 浦和大里小の 工事現場を視察

8月29日、埼玉土建さいたま南支部ととりうみ敏行市議が、市立浦和大里小学校のトイレ改修工事現場を訪問し、現場責任者と懇談しました。

埼玉土建さいたま南支部は、建設労働者の仕事確保と労働条件拡充をめざして毎年公共

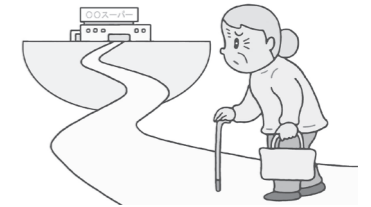
工事現場の視察を党市議団とともに実施しています。浦和大里小学校のトイレ改修工事は、今年6月29日、市内の(株)UDKに発注され、今年10月末の完了予定で進められています。今回の訪問では、とくに建設労働者の社会保険加入促進や、下請け業者への法定福利費の保障、「建退共」貼付状況などをはじめ、現場での労働災害防止などが元請け業

者の責任で進められているかなどについて、(株)UDKの現場責任者から回答を頂きました。

また、現場の労働者にも、職種、年齢、経験年数、賃金などについてアンケート調査を実施しました。とりうみ市議は「建設労働者の権利拡充に向けて、議会でとりあげていきたい」と話しました。

## 高齢者の外出問題

# 移動支援をもっと便利に



党市議団が行っている市民アンケートで多い声が、ご高齢の方からの外出の不便を訴える声です。「通院にタクシーを使っている。病院から通院回数を増やすように言われているが、金銭的に限界である」「免許返納してから買い物に行くのに困っている」などです。

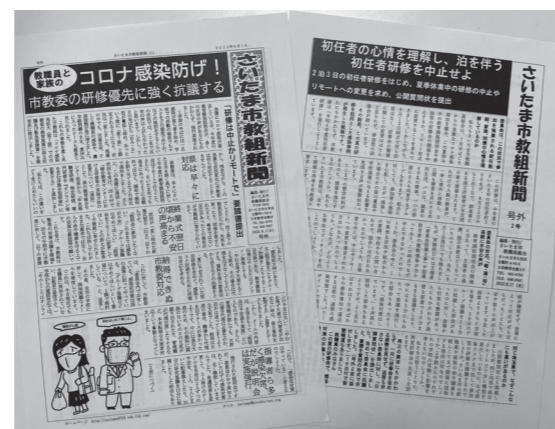
さいたま市の福祉部局は、2019年から高齢者の移動支援事業を実施しています。この事業は高齢者の買い物や通院などへの外出支援で、利用者は無料で目的地の病院やスーパーマーケットに行くことができます。

しかし、移動支援を開始するには、市民5人以上の組織を立ちあげ、自分たちで管理運営しなければなりません。市は補助金(最大30万円)を出すのみで、住民組織には責任と負担がのしかかります。そのため、移動支援のニーズはあるのに、実績はたったの2事業しかありません。久保みき市議は、「せっかくの支援事業だが、高齢者にはハードルが高い。市が主体となって支援するしくみに変える必要があり、市に求めたい」と話しています。

# 市教委が新人教員研修を強行 コロナ禍で2泊3日・300人規模

新型コロナウイルスの過去にない大きな波の真ただなか、市教育委員会は8月22～24日、2泊3日の新人教員研修会を300人規模で実施しました。

市教職員組合は8月15日、細田眞由美教育長に公開質問状を提出し、「実施の可否を検討したのか」「もし感染したら2学期開始時に児童に感染しかねないという認識はあるのか」「感染が起きたら人員不足をどう補うのか」を質しましたが、8月18日付の市教育委員会の文書回答は「宿泊研修で感染したら、小学校では担任外の教職員が授業を行い、中学校では時間割を入れ替えて対応する」という驚くべき内容でした。市教職員組合は3度にわたり「非集合型」研修への変更や中止を申し入れてきましたが、市教委はこれを無



市教職員組合の新聞

視して強行。その後、この研修に起因したと思われるコロナ感染が発生しています。

この問題について相談を受けたとばめぐみ市議は「教職員の健康も児童生徒の健康も顧みない市教委のやり方に怒りを禁じえない。議会でとりあげたい」と話しました。

## あなたの身近な議員です

						
市議(浦和区) とりうみ敏行	市議(緑区) 松村としお	市議(桜区) 久保 みき	市議(南区) 金子あきよ	市議(北区) 神田よしゆき	市議(見沼区) とばめぐみ	市議(中央区) たけこし連